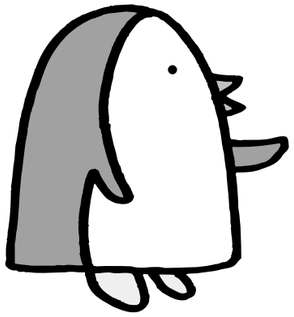
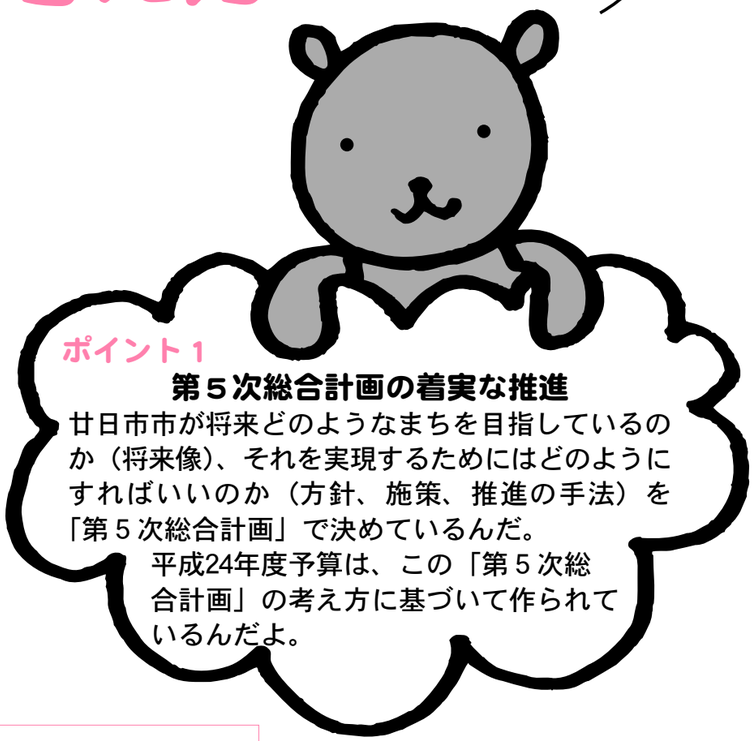
まずは、平成24年度予算の基本的な考え方

平成24年度の予算は、どのような考え方で作られているの？



「第５次総合計画の着実な推進」と、「将来にわたって安定した財政運営の推進」を大きな２つの柱として作られているんだよ。



ポイント１

第５次総合計画の着実な推進

廿日市市が将来どのようなまちを目指しているのか（将来像）、それを実現するためにはどのようにすればいいのか（方針、施策、推進の手法）を「第５次総合計画」で決めているんだ。

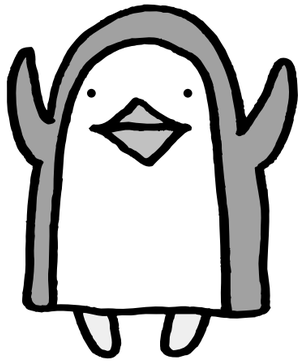
平成24年度予算は、この「第５次総合計画」の考え方に基づいて作られているんだよ。

ポイント２

将来にわたって安定した財政運営の推進

市の財政がしっかりしていないと、将来の計画が立てにくく、まちづくりを進めることができないんだ。これからも安定した財政運営ができるよう、将来に備えて、工夫した行財政運営に取り組んでいるんだ。

次の世代のことも考えた予算なんだね。



そうなんだよ。
これらの基本的な考え方に基づいて作られた予算を次のページから数字を使って説明するよ。

予算Q&A

Q 一般会計って、なあに？

A 「一般会計」というのは、福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計なんだ。お金の使い方に応じて、そのほかに「特別会計」、「企業会計」があって、一般会計と合わせて、３つに分けて管理しているんだ。

Q １年間でどのくらいのお金を使うの？

A １年間の収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」というんだ。平成24年度の「一般会計」の歳入と歳出はそれぞれ409億4,000万円なんだ。平成23年度は411億6,000万円だったから、２億2,000万円、0.5％減っているんだ。

Q そもそも、「予算」ってなあに？

A １年度（４月から次の年の３月まで）の間で、どのくらいの収入があって、そのお金をどのように使う予定なのかを計画したものなんだよ。

Q 「予算」ってどうやって決まるの？

A 市民の皆さんの意見などをもとにしながら、どのようなことに、どれだけのお金を使うのかを市長が予算の案を作って市議会に提案するんだ。市議会では、市民の皆さんから選ばれた市議会議員が、提案された予算の案を審議して予算として決まるんだよ。

市の財布は全部で３つ

一般会計	特別会計	企業会計
福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計	国保税など使い道が決まっていて、収支を明確にするため、一般会計と分けている会計	民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

第５次総合計画
まちづくりの基本理念

人と人がつながり、信頼し合い、それをエネルギーとしてまちづくりを進めます。

それぞれの地域の資源を生かした個性あるまちづくりを進めながら、地域と地域がつながり、助け合い、新しい廿日市市をつくります。

都市像 世界遺産を未来につなぎ、多彩な暮らしと文化を育む都市・はつかいち

経営理念 【こんな視点でまちづくりを進めます】
魅力ある資源を上手につなぎ、
市民満足度を高めるはつかいち

基本目標1 【こんなはつかいちを目指します】
健やかな暮らしを支え、
安全で快適に暮らせるはつかいち

基本目標2 新たな魅力と活力を創出し、
交流するはつかいち

次代を切り拓く横断的キーワード

環境　子育て　観光･交流

後期基本計画の力点

「住み続けたいまち」 安心　「活力のあるまち」 成長

これが、その総合計画の基本的な考え方だよ。
その中に次代を切り拓く横断的キーワードとして、「環境」、「子育て」、「観光・交流」があるんだ。今年の予算も、そのキーワードが大きなポイントになっているよ。